

## ○静岡県優秀技能者功労表彰に関する実施要領

### 第1 趣 旨

この要領は、静岡県優秀技能者功労表彰に関する要綱（以下「要綱」という）第8条に基づき、技能者表彰の実施に関し必要な細目を定めるものである。

### 第2 被推薦者

被推薦者は、静岡県内に就業している者であって、次の各項の全ての要件を充たしているものであること。

- 1 技能の程度が極めて優れており、当該技能において県内で第1人者と目されていること。
- 2 推薦日現在において、現役の技能者として就業していること。

この場合、その者の就業上の地位（自営業主、家族従業者、雇用者等）は問わない。また、優れた技能を有する者が、職業訓練指導員として、事業内職業訓練又は公共職業訓練において、その優れた技能について実技指導等を行っている場合を含み、事業所等において自ら製作又は指導に当たらない場合は含まない。

- 3 就業を通じて、技能に関する工夫、改善等によって生産性を向上させたこと、又は、後進技能者の指導又は教育に携わり技能者の育成に寄与したこと等により、産業の発展に寄与した者であること。
- 4 勤務実績、日常行為等において、他の技能者の模範と認められる者であること。また、禁錮以上の刑に処せられたことのないこと。

### 第3 推薦手続

#### 1 被推薦者の選考

- (1) 要綱第6条第1項の推薦団体等の代表者等は、第2の要件を充たす真に表彰するにふさわしい者を選考し、知事に推薦するものとする。
- (2) 要綱第6条第2項に基づき推薦しようとする者は、第2の要件を充たす真に表彰するにふさわしい者1名を、知事に推薦することができる。ただし、その推薦に賛同する者2名の賛同を得ることとし、賛同者は満20歳以上であり、かつ、推薦者、被推薦者及び賛同者が2親等以内（配偶者を含む。）の親族関係にないこと。なお、賛同者が賛同する被推薦者は1名とする。

#### 2 提出書類

推薦者は、別に定める日までに次の書類を提出する。

- (1) 調書（様式第1-1又は様式第1-2） 2部
- (2) 推薦理由書（様式第2） 2部
- (3) 賛同理由書（様式第3：個人推薦の場合のみ必要） 2部
- (4) 住民票の写 2部

（以上のものは1部コピー可）

(5) 写 真

ア Lサイズ（約89mm×約127mm）上半身、正面、脱帽、無背景、縦位置でカラープリント  
2枚及び写真データ

イ 作業中のもの枚数適宜（本人の製作、工夫、改善などが分かるもの）2組

(6) その他の資料 各2部

被表彰候補者の最も高く評価されている技能の程度及び功績を立証又は説明することのできる資料をできるかぎり集め添付すること。ただし、表彰に係る技能に関係ない資料は添付しないこと。

なお、後日返還を要するものについては、その旨を明示すること。

ア 新聞記事等

本人の事績に関する新聞、雑誌、業界紙の記事等（コピー可）。

※表彰式の記事は不要。

イ 説明書、図面、写真等

本人の製作物又は発明、考案、改善等に関する説明書、図面、写真等。

改良前と改良後の比較をなるべく数量的に表現し、専門的、技術的分野に関するものについては、平易な解説を付す等の配慮をすること。

ウ 特許、実用新案等の資料

特許、実用新案等については、発明者名（共同の場合は担当分野を明らかにする資料及び証書写を付すこと。）、所有権者名、内容、取得年月日を明らかにする資料及び証書写を付すこと。

エ 主要工事の概要

建設関係の職種については、主要工事経歴書等、主要な工事の規模、構造の概要とその担当した分野を明らかにする資料を付すこと。

オ 資格、表彰等の写

表彰に係る技能に関する資格、表彰等については、その証書、賞状の写を付すこと。共同での表彰の場合は担当分野・功績の割合および構成員を明らかにする資料を付すこと。

表彰に係る技能に関係ない資料（団体役員、寄付、保護司等の表彰）は添付しないこと。

#### 第4 被表彰者の決定

被表彰者は、第3の規定により推薦された者のうちから経済産業部長決裁により決定する。

## 調 書 記 載 要 領

- 1 本調書は、被表彰者の選考のための基本票となるので、記載事項は、簡潔明瞭、かつ、的確に所定欄に記入すること。
- 2 「職種名」欄には、その者の有する技能の職種について、別表の「職種一覧」を参考に記入すること。
- 3 「氏名」欄には、戸籍に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付けること。なお、改氏名のあるものについては、「旧氏名」欄に旧氏名を記入すること。
- 4 「生年月日」欄には、戸籍に記載されている生年月日を記入し、( )内に本年10月31日現在の満年齢を記入すること。
- 5 「本籍地、現住所、就業地の所在地」欄には、それぞれの番地まで略さずに記入すること。
- 6 「最終学歴」欄には、最終の学校名(大学・高専・高校の場合は学部・学科名を併記)及び卒業又は中退年月日を記入すること。
- 7 「就業地」の「事業所名」欄には、雇用されている場合は、雇用事業所名を、自営の場合は屋号等を記入すること。
- 8 「表彰歴」欄には、それぞれ既有の勲章・褒章・表彰(表彰に係る技能に関連して表彰をうけたもののみ)別に受賞年月、受賞理由及び表彰をした者を記入すること。なお、団体で受けた表彰歴を記載する場合には、その団体の構成及び当人の役割・分担や貢献度のわかる資料を添付すること。
- 9 「職歴」欄には、職歴について就業先事業所の名称、職場における職務内容、地位、役職等の異なるごとに記入する。(表彰に係る技能に関連した職歴のみ)
- 10 「在職期間」欄には、その職の始期と終期を記入すること。なお、現職については、本年10月31日をもって終期とすること。
- 11 「免許・資格等」欄には、その者の有する免許・資格及び特許又は実用新案等の種類と取得年月日を記入し写しを添付すること。(表彰に係る技能に係る無い資格は記入しないこと。)なお、技能検定に合格している者については、技能士の名称(〇級〇〇技能士)を必ず記入すること。
- 12 「優秀技能者の概要」欄には、その者の有する技能の概要、考案、改善等の功績、貢献の概要、後進技能者の指導育成の概要について、その優秀性が的確に把握できるよう次に掲げるところにより記入すること。
  - (1) 「技能の概要」及び「功績・貢献の概要」欄については、それぞれ事項を見出し書きし、その事項について、下記(2)及び(3)により、無意味な修飾語を用いることなく具体的に記載すること。
  - (2) 「技能の概要」欄には、関連する他の資料に合わせて、当該技能者の従事する職種、技能の水準、範囲、特徴あるいは他の技能者との比較等の観点から優れた技能を有するものであることが判定できるよう、特に技能の質的な面を中心に具体的に記入すること。
  - (3) 「功績・貢献の概要」欄には、関連する他の資料に合わせて、その者が当該技能をもって製作又は建造等をしたもので、当該技能者の技能の程度の判断に資するとともに、企業、産業界及び社会に対する貢献度等において高く評価されているような代表的な事績について具体的に記入すること。  
なお、団体の役員としての活動状況を中心にして記入しないでください。
  - (4) 「後進指導育成の概要」欄には、その者が後進の指導・育成にあたった方法、対象及び範囲等について具体的に記入すること。
  - (5) 「現役性」欄には、その者が現役の技能労働者であるかを確認するため、その者の有する技能に関連した職種にかかる1日平均の就業時間又はその者の有する技能に関連した職種に専ら就業しているか否か等を具体的に記入すること。
- 13 「推薦順位」欄には、推薦団体等における被表彰候補者の推薦の優先順位を必ず記入すること。
- 14 認定職業訓練機関が推薦する場合は、名称の横に認定校名を( )書きすること。
- 15 団体・事業所推薦の場合、様式第1-1「推薦団体等」欄には、推薦団体等の所在地、名称及び連絡する場合の担当者の所属、氏名、電話番号等を記入すること。
- 16 個人からの推薦の場合、様式第2-1「推薦者」欄には、推薦者の住所、氏名、被推薦者との関係及び連絡する場合の電話番号等を記入すること。なお、「賛同者」欄には、必ず2名の賛同者氏名を記入すること。

(団体・事業所からの推薦用) 調 書 (1)

職 種 名		職 歴	在 職 期 間	在職年月数	計	
ふりがな 氏 名 (旧氏名)			年 月 日	年 月		
生年月日 (年齢は推薦年度の10月31日現在)			大正 昭和 年 月 日( 歳)男・女 平成			
最 終 学 歴			(大・昭・平 年 月 日)			
本 籍						
現 住 所		公職・団体歴	在 任 期 間	在任年月数	計	
〒 TEL			年 月 日	年 月		
就 業 地	事業所名		年 月 日	年 月		
	所在地					〒 TEL
	候補者 現職名					
	事業内容 主要生産物					
表 彰 歴			免 許 ・ 資 格 等 名	取 得 年 月		
刑 罰	刑罰の有無 (過去に禁錮以上の刑に処せられたことが有るか否か) 有 無 不明					

(団体・事業所からの推薦用) 調 書 (2)

職 種 名		ふりがな 氏 名 (旧氏名)	
優 秀 技 能 者 の 概 要			
技 能 の 概 要	功 績 ・ 貢 献 の 概 要		後 進 指 導 育 成 の 概 要
現 役 性	技能検定委員等 経験回数	検定委員 計 回 補佐員 計 回	大会名 回 大会名 回 大会名 回
	優秀技能者功労表彰 過去の推薦回数	年度 年度 年度 計 回	技能競技 大会委員 等の経験 回数
推 薦 順 位	推 団 体 薦 等	所 在 地  〒	
推 薦 総 数 人		名 称 代表者氏名	
推 薦 順 位 位		連絡者担当氏名 TEL FAX E-メール	

(個人からの推薦用)

調 書 (1)

職 種 名		職 歴	在 職 期 間	在職年月数	計	
ふりがな 氏 名 (旧氏名)			年 月 日	年 月		
生年月日 (年齢は推薦年度の10月31日現在)			大正 昭和 年 月 日( 歳)男・女 平成			
最 終 学 歴			(大・昭・平 年 月 日)			
本 籍						
現 住 所		〒 TEL	公職・団体歴	在 任 期 間	在任年月数	計
就 業 地	事業所名		年 月 日	年 月		
	所在地	〒 TEL				
	候補者 現職名					
	事業内容 主要生産物					
表 彰 歴			免 許 ・ 資 格 等	免 許 ・ 資 格 等 名	取 得 年 月	
刑 罰	刑罰の有無 (過去に禁錮以上の刑に処せられたことが有るか否か) 有 無 不明					

(個人からの推薦用)

調 書 (2)

職 種 名				ふりがな 氏 名 (旧氏名)	
優 秀 技 能 者 の 概 要					
技 能 の 概 要		功 績 ・ 貢 献 の 概 要		後 進 指 導 育 成 の 概 要	
現 役 性		技能検定委員等 経験回数	検定委員 計 回 補佐員 計 回	技能競技 大会委員 等の経験 回数	大会名 回
		優秀技能者功労表彰 過去の推薦回数	年度 年度 年度 計 回		大会名 回 大会名 回
推薦者 及び 賛同者	推薦者	住 所 〒 氏 名 TEL FAX 年齢 歳 被推薦者との関係 E-メール			
	賛同者	住 所 〒 氏 名		住 所 〒 氏 名	

(様式第2)

## 推 薦 理 由 書

被推薦者

本 籍 地

現 住 所

氏 名

生年月日

推薦理由

1 \_\_\_\_\_の技能

2 \_\_\_\_\_の考案

3 後進の指導育成

(推薦理由書作成要領)

- 1 技能については、関連する他の資料(写真・記事等)にあわせて、その者の有する技能について、その技能者の従事する職種技能の水準・範囲・特徴あるいは他の技能者との比較等の観点から優秀な技能を有するものであることが判定できるよう、特に技能の質的な面を中心に具体的に記入すること。
- 2 考案については、関連する他の資料にあわせて、その考案の内容・企業・産業界・社会に対する貢献度等について具体的に記入すること。
- 3 後進の指導育成については、その者が後進の指導育成にあたった時期・対象・方法・範囲等について具体的に記入すること。

(様式第3)

## 賛 同 理 由 書

被推薦者

本 籍 地

現 住 所

氏 名

生年月日

賛同理由

賛同者

住所 〒

署名

年齢

歳

被推薦者との関係

推 薦 者との関係

電話

FAX

E-メール

(賛同理由書作成要領)

賛同者ごとに作成すること。